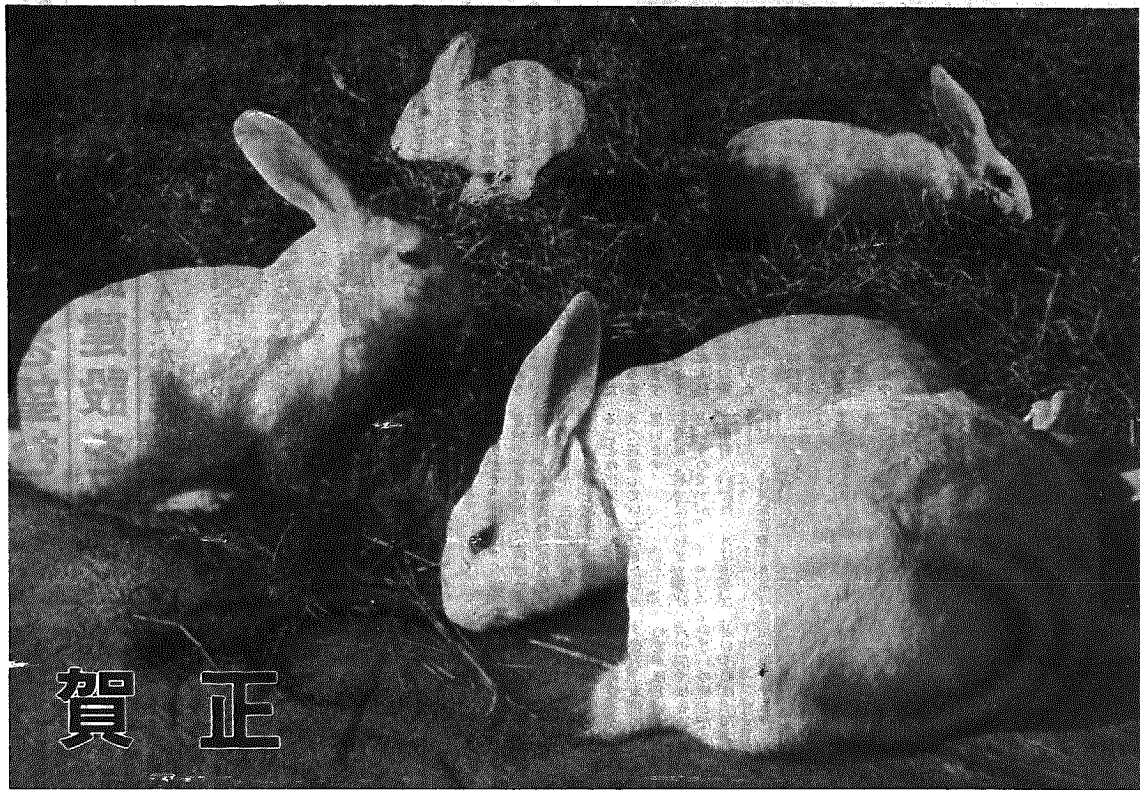




-新年特集-

- 1.年頭の挨拶 (P 1)
横越村長
横越村副議長
- 2.1975年村政に期待する
新春庶民会 (P 2、3)
- 3.1974年横越村のあれこれ (P 4)
- 4.村スポーツあれこれ (P 4)



賀正

(横越下部落で撮影)

年頭の挨拶

横越村長
神田 正平

村民の皆様、新年おめでとうございませう。心から皆様方のご多幸をお祈りいたしました。昨年は異常な物価インフレに悩まされ務局も又、大動揺いたしました。三木新内閣も生れ本年こそはなんととして良い年でありたいと期待いたしました。横越村も念願の小学校統合校舎が十一月初旬に完成し、各校の古い校舎に比較して目を見張るよう立派な施設となりました。

今後は、引き続き体育館および給食室を建築し、内容設備を行なう。明年(昭五二)四月、予定どおり実質統合の開校をしたいものと準備を進めております。

又、新年度以降の大事業と村民の皆様、明けましておめでとうございませう。昨日のつづは早いもの昨年此の紙上で御挨拶申し上げたのがつい昨日の様に感じられます。

昨年は石油ショック以来のインフレ、物不足、資源枯渇問題で世相は凄然としており

村長の皆様、新年おめでとうございませう。心から皆様方のご多幸をお祈りいたしました。昨年は異常な物価インフレに悩まされ務局も又、大動揺いたしました。三木新内閣も生れ本年こそはなんととして良い年でありたいと期待いたしました。横越村も念願の小学校統合校舎が十一月初旬に完成し、各校の古い校舎に比較して目を見張るよう立派な施設となりました。

今後は、引き続き体育館および給食室を建築し、内容設備を行なう。明年(昭五二)四月、予定どおり実質統合の開校をしたいものと準備を進めております。

又、新年度以降の大事業と村民の皆様、明けましておめでとうございませう。昨日のつづは早いもの昨年此の紙上で御挨拶申し上げたのがつい昨日の様に感じられます。

昨年は石油ショック以来のインフレ、物不足、資源枯渇問題で世相は凄然としており

村長の皆様、新年おめでとうございませう。心から皆様方のご多幸をお祈りいたしました。昨年は異常な物価インフレに悩まされ務局も又、大動揺いたしました。三木新内閣も生れ本年こそはなんととして良い年でありたいと期待いたしました。横越村も念願の小学校統合校舎が十一月初旬に完成し、各校の古い校舎に比較して目を見張るよう立派な施設となりました。

今後は、引き続き体育館および給食室を建築し、内容設備を行なう。明年(昭五二)四月、予定どおり実質統合の開校をしたいものと準備を進めております。

又、新年度以降の大事業と村民の皆様、明けましておめでとうございませう。昨日のつづは早いもの昨年此の紙上で御挨拶申し上げたのがつい昨日の様に感じられます。

昨年は石油ショック以来のインフレ、物不足、資源枯渇問題で世相は凄然としており



横越村長
神田 正平

ごあいさつ

横越村副議長
佐藤 藤男

一月で新任と云う事になりました。それが一年、田中内閣が三木内閣に変わりましたが、安定経済への道は実につわい様であります。此の一年間に受けた、われわれの生活の打撃はあまりにも大きかったと思えます。自治体も総額抑制等物価高などで四苦八苦辛うじて執行部

道路の舗装も引き続き本年も計画的に進める予定であり、拡充を必要とする地域については、近く用地買収に入る予定であります。その他、新しい農業近代化の推進と、福祉事業等も新しい年の課題として取り組んで行きたいと思っております。

しかしながら本年は、国の経済成長の不振から既に容易ならざる年だといわれ始めております。即ち国の総需要抑制政策と、金融の引き締め、一方物価高および資金の大上昇等は、一般国民生活にとりて地方自治体の財政も今更でない試練の年を迎えようとしております。

こういう時こそ我々行政の責任にある者はもちろん、住民の皆様もこの難局を切り開く一大決意をもって、村民一致協力して行かなければならないと思っております。

年頭に当り所感の一端を申し上げ、村民皆様の益々のご健康をお祈りしてご挨拶いたします。

我々も思いを新たに村民の皆様、新年おめでとうございませう。心から皆様方のご多幸をお祈りいたしました。昨年は異常な物価インフレに悩まされ務局も又、大動揺いたしました。三木新内閣も生れ本年こそはなんととして良い年でありたいと期待いたしました。横越村も念願の小学校統合校舎が十一月初旬に完成し、各校の古い校舎に比較して目を見張るよう立派な施設となりました。

今後は、引き続き体育館および給食室を建築し、内容設備を行なう。明年(昭五二)四月、予定どおり実質統合の開校をしたいものと準備を進めております。

又、新年度以降の大事業と村民の皆様、明けましておめでとうございませう。昨日のつづは早いもの昨年此の紙上で御挨拶申し上げたのがつい昨日の様に感じられます。

昨年は石油ショック以来のインフレ、物不足、資源枯渇問題で世相は凄然としており

あけましておめでとうございます。昭和五十一年の年頭に当り、横越村の発展と村民皆様の御多幸御健康を心からお祈り致します。

この「広報よこし」も今年で三度目のお正月を迎えることになりました。新年号で三十二回を数えることになりました。村行政の連絡や紹介公民館活動についての報告やお願いなどを内容として、村の活動状況をお知らせしていただくわけです。広報の性格として、村からのお知らせが主体となり行政上の連絡事項等がその主体となつてきたのはやむを得ないと思っております。

然し、私も、この広報が村民の方々の御意見や俳句、短歌などの創作作品などを掲載したりして村民の広場としても活用して頂くような広報にしていきたいと思っております。然し、三十二号までの紙面をふりかきつてみますと、必ずしも私の意図するような広報になっているとは思われません。

これは村政をよく知って頂くこととする編集の意欲の強さ、限られた紙面の余裕がないことなどにもあります。中には積極的のご投稿下さる熱心な二、三の方々もおられますが、折角私どもの意図する方向に村民の方々の意見を示して頂けないというような点もあつたかとも思われます。

この新年号からは、大いに創意工夫し村民の皆様への広報とすために努力していきたいと思っております。皆さんも広報に対するご意見がありましたら、どしどしお聞かせ願ひたいと思っております。広報よこしを育てていくためには、是非皆さんのご協力を頂きたいと思っております。(昭中)